

2025年5月15日

各 位

株式会社サイバーエージェント
代表取締役 代表執行役員 社長 藤田 晋
(コード番号：4751 東証プライム市場)
問合せ先 IR・SR 室長 宮川 園子
連絡先 03-5459-0227

**(訂正・数値データ訂正)「2023年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正について**

当社は、2023年1月25日付で開示いたしました「2023年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の内容及び理由

訂正の内容及び理由につきましては、別途、本日(2025年5月15日)付「過年度有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所には____を付して表示しております。

なお、訂正箇所が多数に及ぶことから、訂正後のみ全文を記載しております。

以 上

(訂正後)



2023年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月25日

上場会社名 株式会社サイバーエージェント 上場取引所 東
 コード番号 4751 URL <https://www.cyberagent.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 代表執行役員 社長 (氏名) 藤田 晋
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 中山 豪 (TEL) 03-5459-0202
 四半期報告書提出予定日 2023年1月26日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (ライブ配信のみ)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第1四半期の連結業績(2022年10月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益		包括利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第1四半期	167,423	△2.1	△1,738	—	△1,421	—	△5,391	—	△4,157	—
2022年9月期第1四半期	170,985	30.5	19,642	179.3	19,675	184.8	5,929	104.1	8,669	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2023年9月期第1四半期	△10.65	—	—	—
2022年9月期第1四半期	11.73	—	11.09	—

(注) 2023年9月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本	自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年9月期第1四半期	420,970	209,638	129,917	30.9
2022年9月期	381,933	221,245	142,595	37.3

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
2022年9月期	—	—	0.00	—	—	—	14.00	—	14.00	—
2023年9月期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	—	—	—	—	—	15.00	—	15.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日~2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	720,000	1.4	40,000 ~50,000	△40.8 ~△26.0	40,000 ~50,000	△41.1 ~△26.4	15,000 ~20,000	△34.5 ~△12.7	29.64 ~39.53	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変動を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年9月期1Q	505,938,400株	2022年9月期	505,924,000株
2023年9月期1Q	1,004株	2022年9月期	1,004株
2023年9月期1Q	505,930,926株	2022年9月期1Q	505,475,657株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性がございます。なお、上記業績予想に関する事項は、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、スマートフォン市場の成長を取り込む一方で、中長期の柱に育てるため、新しい未来のテレビ「ABEMA」への投資をしつつ、当第1四半期連結累計期間における売上高は167,423百万円（前年同期比2.1%減）、営業損失は1,738百万円（前年同期間19,642百万円の利益計上）、経常損失は1,421百万円（前年同期間19,675百万円の利益計上）、親会社株主に帰属する四半期純損失は5,391百万円（前年同期間5,929百万円の利益計上）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

①メディア事業

メディア事業には、「ABEMA」、「WINTICKET」、「Ameba」等が属しております。

新しい未来のテレビ「ABEMA」と周辺事業が増収を牽引し、売上高は33,506百万円（前年同期比33.7%増）、「FIFA ワールドカップ」の配信等により、営業損益は9,663百万円の損失計上（前年同期間3,838百万円の損失計上）となりました。

②インターネット広告事業

インターネット広告事業には、インターネット広告事業本部、AI事業本部、(株)CyberZ等が属しております。

景気の影響を一部受けつつも、好調に推移し、売上高は95,463百万円（前年同期比8.9%増）、営業損益は4,825百万円の利益計上（前年同期比13.6%減）となりました。

③ゲーム事業

ゲーム事業には、(株)Cygames、(株)Colorful Palette、(株)サムザップ、(株)アプリボット等が属しております。

主力タイトル周年記念前の端境期等により、売上高は40,916百万円（前年同期比29.9%減）、営業損益は5,212百万円の利益計上（前年同期比69.6%減）となりました。

④投資育成事業

投資育成事業にはコーポレートベンチャーキャピタル、(株)サイバーエージェント・キャピタルにおけるファンド運営等が属しており、売上高は139百万円（前年同期比94.3%減）、営業損益は286百万円の損失計上（前年同期間1,969百万円の利益計上）となりました。

⑤その他事業

その他事業には、(株)マクアケ、(株)リアルゲイト、(株)ゼルビア等が属しており、売上高は6,076百万円（前年同期比4.3%減）、営業損益は130百万円の損失計上（前年同期間152百万円の利益計上）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は420,970百万円（前連結会計年度末比39,036百万円の増加）となりました。これは、主に転換社債型新株予約権付社債の発行によるものであります。

負債は211,331百万円（前連結会計年度末比50,644百万円の増加）となりました。これは、主に転換社債型新株予約権付社債の発行による増加であります。

純資産は209,638百万円（前連結会計年度末比11,607百万円の減少）となりました。これは、主に配当金の支払等に伴う利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年10月26日に公表した連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	165,907	198,697
受取手形、売掛金及び契約資産	71,139	70,453
棚卸資産	4,262	5,384
営業投資有価証券	16,457	17,542
その他	34,109	37,143
貸倒引当金	△36	△37
流動資産合計	291,840	329,183
固定資産		
有形固定資産	18,974	19,116
無形固定資産		
のれん	4,843	4,764
その他	17,210	18,624
無形固定資産合計	22,054	23,389
投資その他の資産		
その他	49,059	49,217
貸倒引当金	△17	△16
投資その他の資産合計	49,041	49,201
固定資産合計	90,070	91,706
繰延資産	21	79
資産合計	381,933	420,970
負債の部		
流動負債		
買掛金	59,212	65,929
短期借入金	2,380	3,040
未払法人税等	5,036	2,318
その他	63,289	68,627
流動負債合計	129,919	139,914
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	20,102	60,681
長期借入金	3,750	3,622
勤続慰労引当金	2,787	2,942
資産除去債務	2,250	2,331
その他	1,877	1,839
固定負債合計	30,768	71,416
負債合計	160,687	211,331
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,239	7,244
資本剰余金	11,636	11,639
利益剰余金	117,534	105,062
自己株式	△1	△1
株主資本合計	136,409	123,944
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,887	5,896
為替換算調整勘定	298	75
その他の包括利益累計額合計	6,185	5,972
新株予約権	1,747	1,875
非支配株主持分	76,903	77,845
純資産合計	221,245	209,638
負債純資産合計	381,933	420,970

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
売上高	170,985	167,423
売上原価	116,671	128,390
売上総利益	54,314	39,033
販売費及び一般管理費	34,671	40,771
営業利益又は営業損失(△)	19,642	△1,738
営業外収益		
受取利息	36	44
受取配当金	138	138
持分法による投資利益	—	97
受取賃貸料	2	119
その他	20	39
営業外収益合計	196	440
営業外費用		
支払利息	12	12
減価償却費	—	41
その他	152	70
営業外費用合計	164	123
経常利益又は経常損失(△)	19,675	△1,421
特別利益		
関係会社株式売却益	—	1,000
その他	97	296
特別利益合計	97	1,296
特別損失		
減損損失	899	323
その他	82	86
特別損失合計	981	409
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	18,791	△535
法人税、住民税及び事業税	4,553	2,322
法人税等調整額	2,893	1,260
法人税等合計	7,447	3,583
四半期純利益又は四半期純損失(△)	11,344	△4,118
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,414	1,272
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	5,929	△5,391

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	11,344	△4,118
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,726	195
為替換算調整勘定	48	△91
持分法適用会社に対する持分相当額	3	△142
その他の包括利益合計	△2,674	△38
四半期包括利益	8,669	△4,157
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,223	△5,604
非支配株主に係る四半期包括利益	5,446	1,446

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、連結納税制度をグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額
	メディア	インターネット 広告	ゲーム	投資育成	その他	計		
売上高								
顧客との契約から生じる収益(注2)	22,547	82,098	58,258	2,461	5,618	170,985	—	170,985
(1) 外部顧客への売上高	22,547	82,098	58,258	2,461	5,618	170,985	—	170,985
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,507	5,569	70	—	729	8,876	△8,876	—
計	25,055	87,668	58,329	2,461	6,347	179,861	△8,876	170,985
セグメント利益又は損失(△)	△3,838	5,582	17,130	1,969	152	20,996	△1,353	19,642

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,353百万円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額
	メディア	インターネット 広告	ゲーム	投資育成	その他	計		
売上高								
顧客との契約から生じる収益(注2)	31,803	89,436	40,763	139	5,279	167,423	—	167,423
(1) 外部顧客への売上高	31,803	89,436	40,763	139	5,279	167,423	—	167,423
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,703	6,026	153	—	796	8,679	△8,679	—
計	33,506	95,463	40,916	139	6,076	176,103	△8,679	167,423
セグメント利益又は損失(△)	△9,663	4,825	5,212	△286	△130	△42	△1,695	△1,738

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,695百万円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

該当事項はありません。